（別紙4（2））

事業所名　認知症高齢者グループホーム　まつばら荘

目標達成計画

作成日：　平成　30年　3月　28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	最後まで事業所で暮らしたいと希望する利用者・家族が今後も増えてくると思われる。利用者・家族や介護職員も安心できるような医療機関との連携等が行えるような仕組みが必要である。	利用者・家族の真のニーズを聞き取り、どのような取り組みをすれば取り組むことができるのか職員間で日々検討を重ねていく。外部機関との協力体制の確保についても積極的にかかわりを持って多くの情報を得て良い方法を見つけていく。	利用者・家族のニーズを聞き取るために話し合う機会を多く持つようにする。また、医療面での相談等ができるように外部の訪問看護ステーションとの連携を図り、利用者・家族はもちろん介護職員も安心できる仕組みを構築する。	6ヶ月
2	35	避難訓練時に近隣住民の参加を呼びかけるも昨年度においては参加者がいなかった。有事の際（特に夜間）には近隣住民の協力が欠かせない為、訓練には一人でも多くの参加をしていただきたいところである。	避難訓練において、近隣住民に参加して頂き、避難訓練時の利用者の見守り等をしていただけるようになる。	近隣住民に事業所便り等で、避難訓練実施のお知らせを行うと同時にどのような協力をいただきたいのかの説明も加える。また、近隣住民のボランティアが定期的に来荘されているので、避難訓練の日程を来荘日に合わせてみる。	8ヶ月
3	40	利用者が食事を楽しむために、行事の際等には野菜の皮むきなどのお手伝いをしていただいてはいるが、さらに非日常的な楽しい食事の機会も必要である。	普段の食事以外に利用者が食事を楽しめるような企画を検討する。また、家族やボランティアの協力も得て計画を実行できるように取組を行う。	利用者の希望に沿って、外食や出前などを行事に取り入れていく。ボランティア来荘時に行事を合わせてお手伝いをいただくことも検討する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。